

1. 概要

- 国土: 1,745,000km²(日本の約4.4倍)
- 人口: 約7,195万人
- 首都: テヘラン
 - テヘラン州は人口1,200万人を抱え、イランで最も人口密度が高い地域となっている。テヘランは中東における最大都市である



イランの主な流域

2. 特徴

- 地理・気候
 - 国土の55%は海拔300mから1,500mの高度にある
 - 山岳地帯を含め、森林はなく、特に中央部から東部にかけては砂漠が広がっており、不毛の地となっている
 - イランは様々な地形を内包しているため、気候も地域によって多岐にわたっている
 - 首都テヘランでは、年間平均降水量は200mm程度である。降水量のほとんどは12月から3月にかけての降雪によるもので、その他の時期は乾燥している
 - 年間降水量は砂漠地域では50mm、カスピ海沿岸では2275mmに達する地域もあるが、全国平均では228mmとなっており、約90%の国土が乾燥地域となっている
- 経済情勢
 - イランは世界第2位の石油及び天然ガス埋蔵量を有する有数の産油国である
- 水資源
 - 主に6つの流域ある: 「Markazi流域」「Lake Oroomieh流域」「Persian Gulf and Gulf of Oman流域」「Lake Hamoon流域」「Kara-Kum流域」「Caspian Sea流域」
 - Persian Gulf and the Gulf of Oman流域以外は他国と共有していない
 - 降水量の約66%は河川に達するまえに蒸発してしまう
 - 多くのダムが建設されている
- 水利用
 - 農業・工業・上水道の目的のために約93.9km³の水が利用されたとされ、そのうち40km³は地表水、53.1km³は地下水、0.2km³は海水淡水化による処理水
 - 地下水への依存度が高く、地下水量は年々減少する傾向にある
 - 90%は農業用水として利用されており、水道用水は6.2%、工業用水は1.1%である
 - 人口ひとりあたりの水取水量は1,288m³/年となっており、水資源不足が深刻な国であるにもかかわらず、日本(695.8m³/s)の約1.9倍となっている

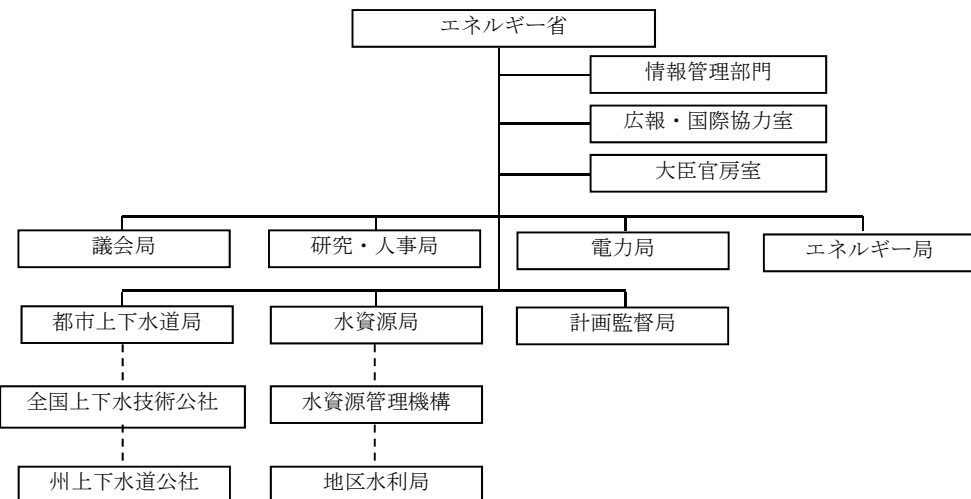
イランの水に関する主な動き

3. 上下水道事業

- 上水道
 - 給水人口は約6340万人、イラン人口の約88.4%
 - 都市部では98.5%、農村部では68.5%
 - イランに1016ある市と336の町のうち、水道ネットワークが整備されているのは935市町
- 下水道
 - 接続人口は約1440万人であり、人口の約20%
 - 都市部での普及率は29.5%、農村部では0.1%以下
 - 2021年までには都市域の人口の60%に下水道を普及させる計画

4. 水に関する行政機関

- エネルギー省
 - 水資源開発、水資源管理と上下水道整備を担当
- 農業聖戦省
 - 農業分野における政策、計画、監督を行う機関
 - 応用開発研究、天然資源や流域の管理、農業分野のインフラや地域開発の管理を実施

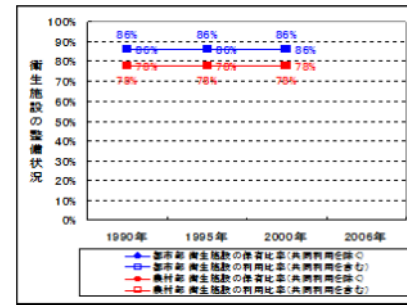
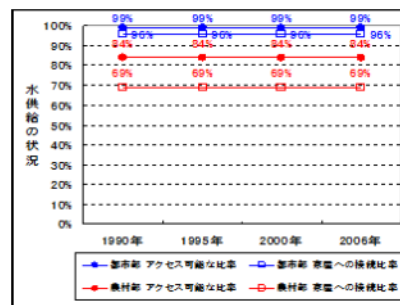


5. 水に関する政策

- 第4次経済開発5カ年計画（2005-2010）
 - 上下水に関するエネルギー省の政策が打ち出されている
- 水分野における長期政策
 - エネルギー省によるすべての水に関する事項の統括的管理システムの確立
- NWWEC vision for 2021
 - 上下水セクターに関わるプログラムとその必要性
 - 人口の100%に対し質、量ともに信頼できる安全な水サービスのアクセスを提供する
 - 集水および処理サービスへの適切なアクセスをすべての都市、地方に対し提供することも目標

6. 課題とニーズ

- 総合水資源管理
 - 利用可能な水資源量が限られている為水供給を最大化し、水の損失を少なくするとともに、取水や貯留、供給、消費に関する効率性を高めるための総合的な管理が必要
- 水利用の効率化
 - 慢性的な水不足および頻繁に発生する深刻な渇水被害の問題を抱える同国では、水利用の効率化が大きな課題
- 上下水道施設の整備
 - 急速な人口増加や都市化に伴い、増大する水需要に対処するためのインフラが必要
 - 既存施設の老朽化対策も必要
 - 今後は上下水道事業における民間参加が増大していくものと予想される



イランにおける水供給の状況と衛生施設の整備状況